

## 活動報告

開催日	報告内容
2022年 3月8日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>李 遠杰（東京大学大学院法学政治学研究科研究生）</p> <p>「公衆電話ボックスを水槽に見立てた造作物の著作物性とその保護範囲が問題となった事例－金魚電話ボックス事件(大阪高判令和3年1月14日令和元年(ネ)1735号)」</p> <p>※詳細については、本誌本号掲載の論文を参照されたい。</p>
2022年 3月9日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>Matthias LEISTNER (Professor, Ludwig Maximilian University of Munich)</p> <p>“Condition of Copyright Protection in EU Law: Towards Appropriate Safeguards for Freedom of Competition?”</p>
2022年 3月14日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>長谷川 遼（立教大学大学院法学研究科准教授）</p> <p>「著作者人格権の保護法益」</p>
2022年 3月25日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>清水 紀子（北海道大学大学院法学研究科博士後期課程）</p> <p>「特許権存続期間延長登録制度において特許請求の範囲の記載と医薬品の製造販売承認申請書の記載が実質的に同一であるとされた事例－知財高判令和3年3月25日令和2年(行ケ)10063号[止痒剤]－」</p> <p>※詳細については、本誌本号掲載の評釈を参照されたい。</p>
2022年 4月16日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>橘 雄介（福岡工業大学社会環境学部社会環境学科助教）</p> <p>「米国における特許権の間接侵害制度の展開と日本法への示唆」</p> <p>※詳細については、本誌第51号から連載中の論文を参照されたい。</p>
2022年 5月16日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>Branislav HAZUCHA（北海道大学大学院法学研究科教授）</p> <p>“Appropriation Art under Copyright Law: A Derivate Work or Fair Use”</p>

<p>2022年 5月22日</p>	<p>パブリック・ドメイン研究会(日本工業所有権法学会2022年度研究会シンポジウム予行演習)(対面及びオンライン) 場所: 東京大学 鈴木 将文(名古屋大学大学院法学研究科教授) 「サプライチェーンにおける特許権侵害」趣旨説明 「複数主体が関与する特許権侵害」 紋谷 崇俊(西村あさひ法律事務所弁護士) 「サプライチェーンにおける特許権侵害—近時の実務的課題と検討」 中山 一郎(北海道大学大学院法学研究科教授・同大学情報法政策学研究センター長) 「サプライチェーンと間接侵害」 田村 善之(東京大学大学院法学政治学研究科教授・北海道大学名誉教授) 「サプライ・チェーンに対する特許権の行使—消尽論との関係—」</p>
<p>2022年 5月30日</p>	<p>パブリック・ドメイン研究会(オンライン) 吉田 広志(北海道大学大学院法学研究科教授) 「特許法104条の現代的課題」</p>